

- ◎ 地震発生！最悪の場合・・・**交通機関**・・・バス、電車すべて運航停止
- 道路**・・・物理的被害や停電による信号機停止などで車の走行不能
- インフラの状況**・・・電気/ガス/水道が途絶
- 一般通信の状況**・・・電話、携帯電話とも回線集中により不通

### 揺れ

#### まず身の安全の確保

- 物が「落ちてこない、倒れてこない、移動しない」場所で身の安全を確保
- 車運転中は道路の左側に停車エンジンを切る
- コンロなどの火は揺れの状況で止められたら止める



### 揺れが収まったら

- 脱出経路を確保する
- コンロなどの火を止める
- もし火が出たら消火器やバケツで初期消火する
- 正確な情報を取る

- 家族(ペット)隣人の安否確認
- 救出や怪我の応急手当をする



### 避難する場合 どういう時に避難する？

- 火災が発生した時
- 津波など警報が発令した時
- 行政や町内会などが必要と判断した時



- ブレーカーを落とす(切る)
- ガスの元栓を閉める
- 備蓄品を持参する

### 避難を考える

- 在宅避難(垂直)
- いっとき避難場所
- 地域防災拠点避難場所

### いっとき避難場所へ

地域で取り決められている  
いっとき避難場所の様子を見る

**大道集会所、六浦第三公園  
山王神社、宝樹院**

### 広域避難場所

大火災発生時の避難場所は  
**関東学院大学総合グラウンド**

### 地域防災拠点へ

**大道小学校**  
風水害 = **六浦地区センター**

## < 備蓄品は備えていますか？ > ※ローリングストックとは

蓄える⇒消費する⇒買い足す⇒を繰り返す。

## 水

1人1日3リットルの飲料水が必要で最低3日分、可能なら7日分を備蓄しましょう。



## 食料

備蓄の食料でしのぎます  
食べなれたものを多めに備蓄し「ローリングストック」しておこう。



## トイレ

水道や電気が止まったり配管が破損しトイレが使用出来なく成ります便座に被せるタイプの**非常用トイレ**を準備しておきましょう。



# 減災のための7つの備え

## 1 自助と共助



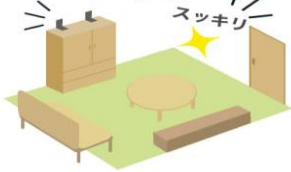
## 2 地域の避難場所 危険区域の確認



## 3 地震に強い家にする



## 4 家の中に 安全空間をつくる



## 5 備蓄・常備品の 準備



## 6 家族間での 防災会議



## 7 地域との つながりを大切に



飲料水



食料



衛生用品・生理用品



医薬品



貴重品



照明器具



情報収集ツール



季節用品



個人的に必要なもの



小物類

阪神・淡路大震災では

死者の約8割が  
家屋の倒壊や家具の転倒による  
圧迫死・窒息死でした。



命を守るために!

家具等の転倒防止対策を  
あらかじめ行っておきましょう  
(寝室が優先)

